

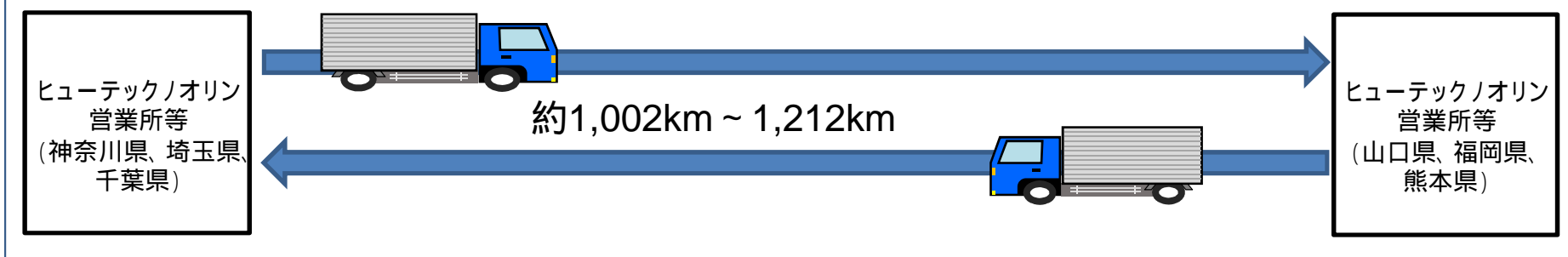
# 220.冷凍食品のRORO船モーダルシフト

令和2年7月17日 認定

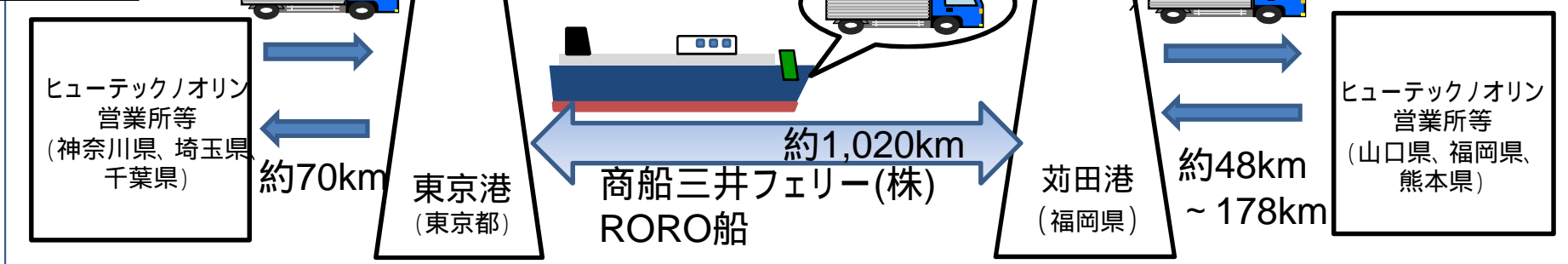
**実施主体**  
(株)ヒューテックノオリン、  
商船三井フェリー(株)

**事業内容**  
関東～九州間でトラック輸送をしていた冷凍食品を、RORO船による船舶モーダルシフトを無人航送で実施し、トラックドライバーの運転時間削減と環境負荷低減を図る。

## 転換前



## 転換後



**特徴**  
・長距離トラック輸送を、RORO船にモーダルシフト。  
・運行日の固定化による積載率の向上。

**効果**  
・CO<sub>2</sub>排出削減量: 87.8t (55.0%)  
・ドライバー運転時間省力化: 1,873時間 (83.5%)

## 222.農産品・冷凍食品複数箇所での鉄道モーダルシフト

令和2年7月30日認定

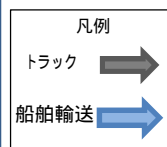
### 実施主体

(株)ラルズ、(株)シジシージャパン、(株)フレスタ、  
日本貨物鉄道(株)、全国通運(株)

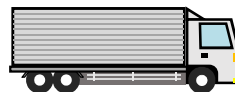
### 事業内容

全国の出荷場所からトラック一貫又は船舶で、冷凍食品や農産品を輸送しているが、鉄道コンテナ複合輸送を行うことにより、環境負荷の低減と省力化を図る。

### 転換前(仮定)



東京都、千葉県、  
埼玉県、茨城県、  
静岡県、和歌山県

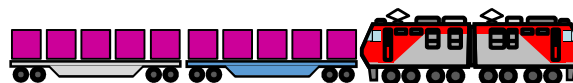


北海道、埼玉県、  
石川県、福井県

### 転換後

東京都、千葉県、  
埼玉県、茨城県、  
静岡県、和歌山県

最寄り貨物駅



モーダルシフト  
約1,500~204km

最寄り貨物駅

北海道、埼玉県、  
石川県、福井県

### 特徴

・複数箇所での、最寄り駅からの鉄道貨物輸送。

### 効果

- ・ CO<sub>2</sub>排出削減量: 17.3t (68.0%)
- ・ ドライバー運転時間省力化: 329.6時間 (69.2%)

# 223.紙製品・飲料製品の往復鉄道モーダルシフト

令和2年7月31日 認定

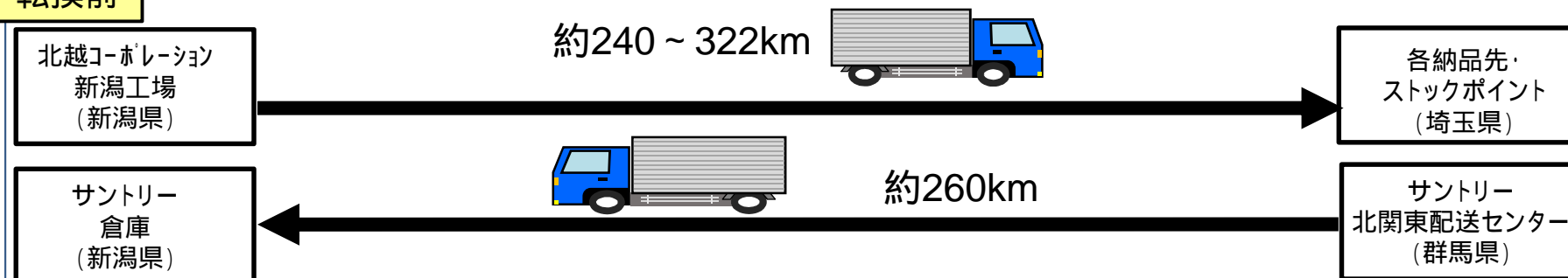
## 実施主体

北越コーポレーション(株)、北越物流(株)、  
サントリーロジスティクス(株)、ヤマト運輸(株)

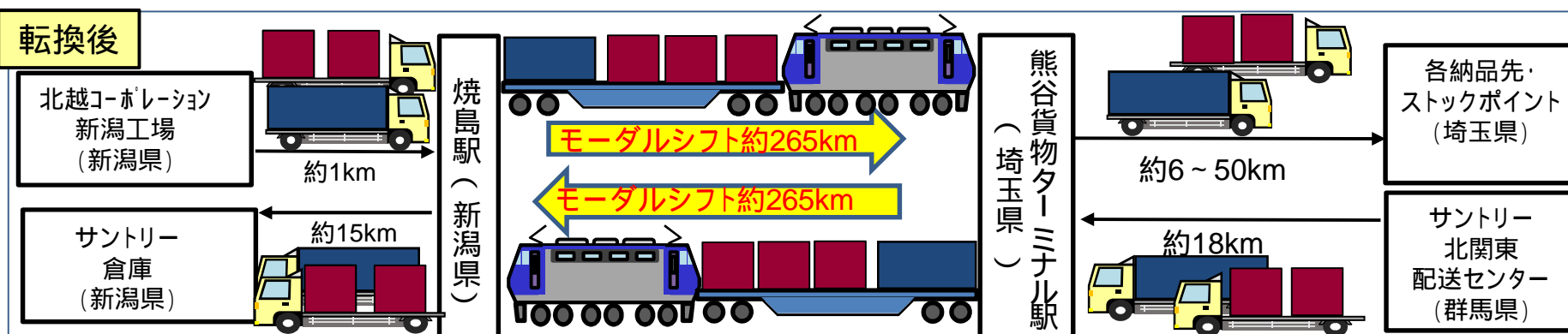
## 事業内容

大型トラックで輸送をしていた新潟から北関東までの製紙輸送をJRコンテナ輸送に転換。その列車の帰りをサントリー北関東配送センターから新潟までの飲料輸送に利用することで、往復実車化の鉄道モーダルシフトを実現し、環境負荷低減と省力化を推進する。

## 転換前



## 転換後



## 特徴

・往復鉄道モーダルシフトによる効率化。

## 効果

- ・ CO<sub>2</sub>排出削減量: 266.3t (62.0%)
- ・ ドライバー運転時間省力化: 4303.3時間 (78.1%)